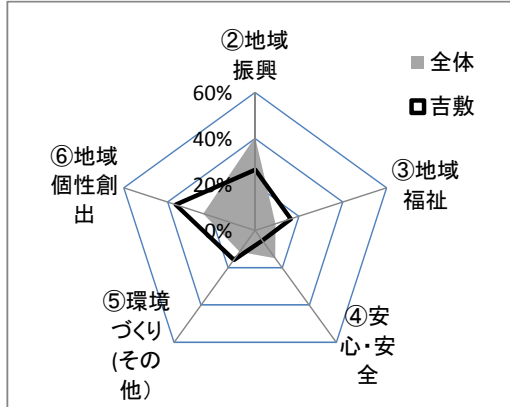


# 吉敷地区地域づくり協議会 地域づくり交付金事業概要(平成26年度)

## ■地域の情報

地域人口	14,843人	自治会数	16
世帯数	5,924世帯	自治会加入率	88.44%

※数値は、平成27年4月1日のもの



## ■決算状況

交付金配分枠	11,902,000 円
交付金決算額	11,571,696 円
その他収入	2,734,339 円
交付金決算額/配分額	97.2%

## 各分野の決算

①協議会運営	6,774,898 円
②地域振興	1,330,000 円
③地域福祉	817,979 円
④安心・安全	272,573 円
⑤環境づくり(土木工事)	2,496,000 円
⑤環境づくり(その他)	790,612 円
⑥地域個性創出	1,823,973 円
決算総額	14,306,035 円

## ■地域づくりの活動方針(テーマ)

「地域福祉活動計画」(H19:地区社協策定)を基に策定された「地域づくり5ヶ年計画」を基本に、新しく部会から提案された事業を加え、地区のスローガン「笑顔あふれるふれあいのまち」の実現に向けて、地域交流センター活動推進協議会事業、あるいは、地区内活動団体事業との連携・役割分担により地域づくりの推進を図ります。

## ■総括

様々な地域課題に、各分野の専門部会から様々な事業提案がなされ、新たな事業として実施に至ったものもありましたが、課題解決のための事業提案から事業実施までの流れを、より円滑なものとする必要があると案じられるものもありました。そのため今後は、自治会を通じたアンケート実施による新たな課題の抽出、様々な提案や団体要望に対する調整機能の強化、各事業の実施主体の明確化などに取り組むことを考えています。また、各種行事については、実行委員会により広報や企画の工夫がなされ、比較的天気にも恵まれたこともありますが、多くの地域住民の参加によって、出会いや交流が生まれ、スローガンである「笑顔あふれるふれあいのまち」の実現に一定の成果があったと考えています。

## ■分野別事業名

① 協議会運営	協議会運営
② 地域振興	ふれあいあいさつ運動、地域情報発信事業、成人式思い出づくり、人権学習推進事業、交流事業、
③ 地域福祉	青少年健全育成事業、ふれあいスポーツ交流事業
④ 安心・安全	自主防災組織づくり、子どもと高齢者の見守り活動
⑤ 環境づくり	土木事業、カーブミラーの充実、ホテルが飛び交うふるさと吉敷、環境美化運動、鳳凰山登山道全体の現状調査事業
⑥ 地域個性創出	コミュニティ活性化事業、ふるさと伝承事業、各種団体支援事業

## ■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	①ふるさと伝承事業 ②鳳翔山現状調査事業	決算額	206,274円
	目的	①吉敷の景勝や昔話、偉人、名所旧跡を掘り起し、保存し継承します。 ②吉敷地区には、陵雲寺や龍蔵寺など時代を物語る建立物が残り、知名人も数多く輩出し、また鳳翔山を背景にゲンジボタルも飛び交うような歴史と文化史跡に恵まれた地域であり、その地域資源を将来にわたり保全していくために先導的に取り組みます。		
	実施内容	平成25年の組織改編により強化した各分野の専門部会において、吉敷の自然や歴史などをいかした地域づくりへの提案がなされ、県立大学との連携事業により、郷土史のアーカイブ化や、吉敷に伝わる昔話の絵本製作が実施されました。中尾地区の藤棚の古木と若い木の保全も実施しました。今後の地域資源の活用のための礎が出来上がりました。		
	実施時期	通年		
	参加人数	25人		
	成果	アンケートのために小学校との連携が強化され、大学の連携により地区外の若い人たちが吉敷を知るきっかけとなりました。		
	評価	文字から絵や音を加えることにより、地域資源が生き返り、地区に広める基礎固めができました。		
	今後に向けて	藤棚も含め、地域住民が価値を見出した「吉敷の文化」を見極め、伝承していくと同時に、その活用方法について検討していくことが必要と思われる。		
②	事業名	①ふれあいあいさつ運動 ②ふれあいスポーツ交流事業	決算額	1,157,259円
	目的	①地区民全てが笑顔であいさつができるように運動を盛り上げます。 ②自然探索やスポーツを楽しみながら、世代交流を推進します。		
	実施内容	ふれあいあいさつ標語の広報による啓発の継続や、登山やグラウンドゴルフ大会などの大人と子どもと一緒に楽しめる行事の開催によって、地域内の世代間交流の輪が広がってきました。今後は30～40歳代の方々がもっと参加したくなるような工夫をしたいと思います。		
	実施時期	通年、4月、5月、11月、3月		
	参加人数	2,200人		
	成果	地域づくり協議会が設置されて以降、運動会では今までにない多くの参加者が見られました。様々なスポーツ交流事業では、地区住民の交流が盛んに行われました。また、センター運営協議会が開催する人材発掘につながる交流事業にも関わりました。		
	評価	運動会の参加地区、参加者の増加は、地域づくりが少しずつ浸透していると感じます。併せて、参加者の増加は交流の浸透へとつながるものと思われます。		
	今後に向けて	継続して実施するものと、地域交流センターが開催する交流事業を共催することにより、人材発掘、地区住民の交流を図りたいと思います。		
③	事業名	自主防災組織立ち上げ・訓練	決算額	2,160円
	目的	地区全体の組織の構築を目指し、その組織に対して各町内会の関わり方を検討します。		
	実施内容	防災特別委員会によって、具体的に自主防災組織設立について提案されました。今後は、組織の立ち上げの早期実現のため関係者による協議を重ねることになります。併せて、地区住民への防災意識の啓発にも継続して取り組みました。また、地区社協が中心に実施する「見守り活動研修会」では、毎年町内会長や関係者が集まり確認作業を実施していますが、今年度はその確認作業の成果を民生委員児童委員協議会が防災マップとして作り上げました。		
	実施時期	通年		
	参加人数	50人		
	成果	地区防災組織の設立の基礎と町内会ごとの防災マップができました。		
	評価	地区被害があったことから高まっていると感じられる防災意識に加え、自主防災組織の基礎と防災マップが出来上がったことは、地区内活動団体の連携による活動の強化が図られるものと思われます。		
	今後に向けて	今年度の成果を基に、吉敷地区にふさわしい自主防災組織の立ち上げに向けて進めていきたいと思います。		